

令和2年8月28日

奈良県知事 荒井 正吾 殿  
奈良市長 仲川 げん 殿  
生駒市長 小紫 雅史 殿  
天理市長 並河 健 殿  
橿原市長 亀田 忠彦 殿  
三郷町長 森 宏範 殿  
広陵町長 山村 吉由 殿

奈良県大学連合

(令和2年度代表) 奈良女子大学長 今岡 春樹  
(同 副代表) 天理大学長 永尾 教昭  
奈良教育大学長 加藤 久雄  
奈良先端科学技術大学院大学長 横矢 直和  
奈良県立大学長 浅田 尚紀  
奈良県立医科大学長 細井 裕司  
畿央大学長 冬木 正彦  
帝塚山大学長 蓮花 一己  
奈良大学長 清水 哲郎  
奈良学園大学長 辻 毅一郎  
近畿大学農学部長 江口 充  
天理医療大学長 吉田 修

新型コロナウイルス感染症に係る奈良県下大学生についての要望書

標記につきましてご配慮・ご協力願いたく、下記のとおり要望いたします。

記

1. 要望の理由

令和2年8月現在、奈良県及び近隣府県における新規感染者が増加している中、奈良県大学連合に加盟している県内12大学中半数を超える大学においても在学生の感染が確認さ

れており、感染防止と共に感染者発生後の対応について強く意識しております。

各大学においては感染防止対策の徹底を図るとともに在学生へも周知しているところですが、大学生の特性として、通学地域や交友関係、アルバイトなどといった活動範囲の広さから、感染リスクが非常に高いことが挙げられます。このことから、自大学の学生の感染が確認された場合、自身の罹患の可能性について不安を持つ者が非常に多いと考えられます。しかし、現行のPCR検査体制においては「濃厚接触者と接触があった者」については検査対象とならず、希望していてもPCR検査を受けることができないので、どのように行動すべきか不安を覚える学生が多く存在しています。

また、部活部員（寮）内でのクラスター発生にも関わらず、部員以外の学生全般に対する教育実習の見合わせやアルバイトの停止、雇い止めが生じてしまうなど、当該大学全体が高リスク団体と看做されてしまう事例も発生しております。

## 2. 要望の内容

- (1) PCR検査体制の更なる拡充を進めていただくとともに、県内大学に通う学生に万が一感染が判明してしまった場合に、当該大学において不安を抱える在学生（濃厚接触者との接触者等）に対する速やかなPCR検査の実施等を手配いただくなど、学生の不安解消にご配慮いただきたい。
- (2) 在学生の感染が確認された大学全体に対する風評被害や不当な扱いの防止について、各自治体内において広報活動など心理的な偏見や不安を排除するための取組みについてご協力いただきたい。

以上